

岩菅山道迷い(2021年3月)

残雪期のため道はない。トレースを頼りに歩くも分かりづらい。違う沢に入り込み違う尾根に登る。間違いに気づき一旦下山し登り返すも時間が心配となり下山した。



解説

途中までトレースがありましたが、気温が上昇すると雪が緩んでそれも分かりにくくなると思います。聖平登山口と思われる所も分かりにくかったですが、アライタ沢から離れて1739mのピークに向かう登り口を間違えました。夏は階段状の登山道があるようですが、雪に埋まっていて全く分かりませんでした。赤テープなど目標になる目印もないのか、見つかりませんでした。

GPSで確認し一旦登山道に戻りましたが、その先もルートが分かりにくかったので、引き返す決断をしました。下山のルートも分かりにくかったので、敢えてルートから離れ自分のトレースを辿ってアライタ沢まで出ました。そこから、危険を伴う箇所もあることを含んで、上りで間違えた所に出るつもりでアライタ沢沿いを下りました。2度2~3m滑落し、2度目は危うく沢に落ちそうになりましたが、必死で耐えました。(HP参照)

残雪期、道は見えないし、体力も消耗するので、より慎重な行動をとらなければならない。そして、道迷いは遭難に至るケースも少なくない。地図の先読みを必ず行い、地図アプリも活用し、道迷いを絶対しない。という気持ちで雪山を楽しんでもらいたい。